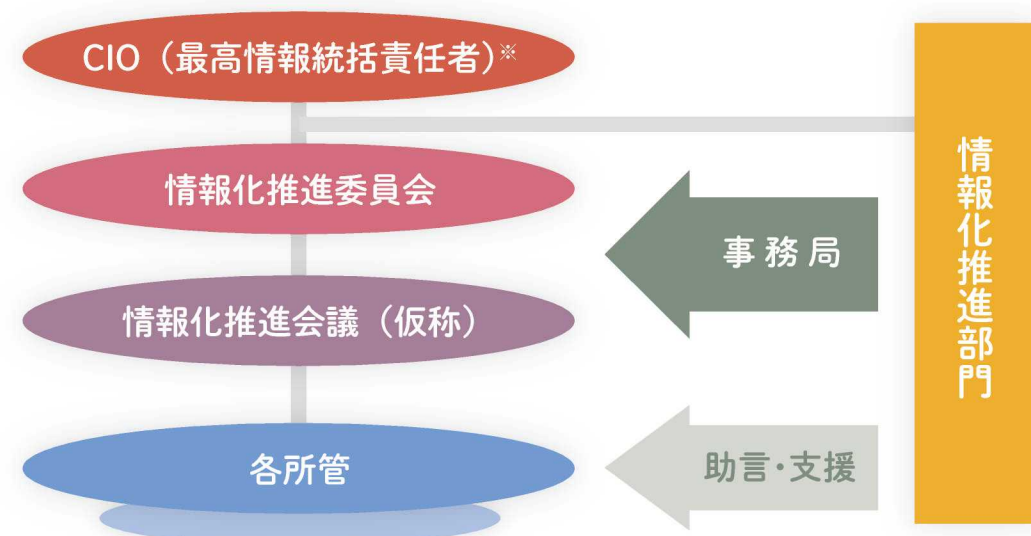


情報化推進計画の推進に向けた取組み

情報化推進体制

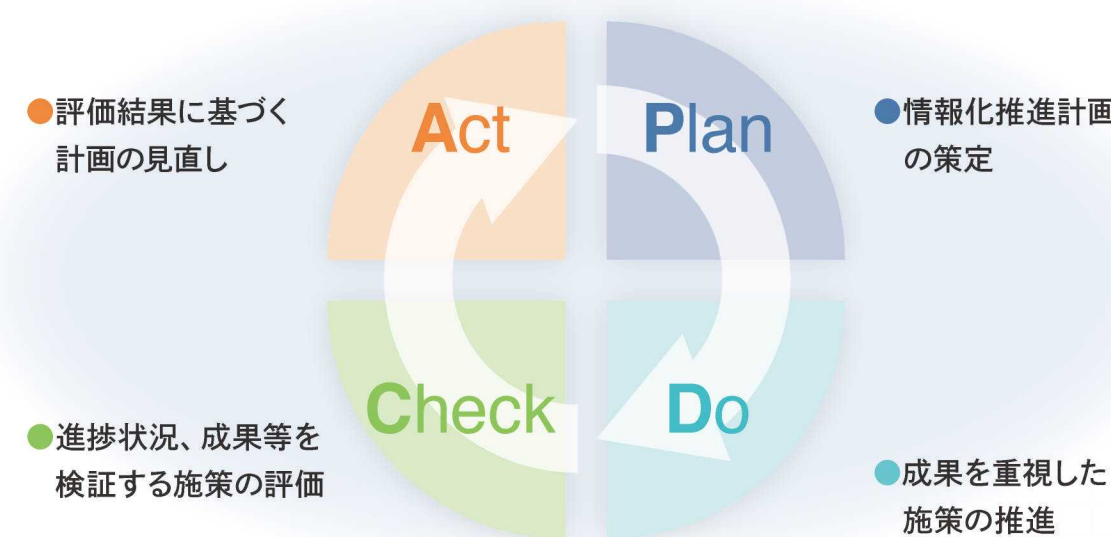
情報化推進計画を総合的に着実に実施していくため、組織横断的な情報化推進体制を確立し、全庁的な情報化の推進に向けて取り組みます。そのために、総務担当課長で構成する「情報化推進会議(仮称)」を設置し、各所管の情報化の推進を調整する機能を持った組織とします。

情報化推進に関する具体的な実行体制については、情報化推進部門がイニシアティブをとり、庁内の情報化施策をフォローするとともに、職員のICT*スキルの向上を図ります。



進行管理の方法

計画された事業については、定期的に進捗状況・成果等を把握・評価を行い、必要に応じて事業の継続や目標設定について見直しを行います。



用語の解説 (アルファベット・50音順)

用語	説明
CIO (最高情報統括責任者) (シーアイオー)	Chief Information Officer (チーフ・インフォメーション・オフィサー) の略。組織の情報に関する資源を統括する最高情報責任者のこと。本市では副市長を指す。
GIS (ジーアイエス)	Geographic Information System (ジオグラフィック・インフォメーション・システム) の略。位置や空間に関する様々な情報を、コンピュータを用いて重ね合わせ、情報の分析・解析を行ったり、情報を視覚的に表示させたりするシステムのこと。元々は専門的な分野での利用が一般的だったが、最近では、私たちの生活の中で身近な利用へと、その活用が広がってきている。
ICT (アイシーティー)	Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー) の略。一般的となったITの概念をさらに一歩進め、情報通信技術という意味合いから、最近では国際的にもICTの表現が多く利用されてきている。
ICT-BCP (アイシーティー・ピーシービー)	BCPはBusiness Continuity Plan (ビジネス・コンティニューティ・プラン) の略で業務継続計画という。ICT-BCPは情報システムが災害・事故を受けても重要業務をなるべく中断せず、中断しても出来るだけ早急に復旧させるための計画である。
ICTガバナンス (アイシーティーガバナンス)	組織がICTに関する企画・導入・運営及び活用を行うにあたり、全ての活動や成果及び関係者を適正に統制し、目指すべき姿へと導くための仕組みを組織内に組み込むこと。または、組み込まれた状態のこと。
LAN (ラン)	Local Area Network (ローカル・エリア・ネットワーク) の略。ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピュータや通信機器、プリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワークのこと。
SNS (エスエヌエス)	Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の略でソーシャルメディア*の1つ。登録された利用同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことで、代表的なものに、Facebook (フェイスブック)、mixi (ミクシイ)、LINE (ライン) などがある。
Wi-Fi (ワイファイ)	Wireless Fidelity (ワイヤレス・フィデリティ) の略。ケーブルを使わず、無線通信を利用してデータをやり取りする仕組みであり、インターネットに接続すること等ができる。一般的に「無線LAN*」とも呼ばれている。
オープンデータ	インターネットなどを通じて誰でも自由に入手し、利用・再配布できるデータの総称のこと。オープンデータの推進により、行政の透明性・信頼性の向上、国民参加・官民協働の推進、経済の活性化・行政の効率化が三位一体で進むことが期待されている。
オープンデータ カタログサイト	行政機関が保有する公共データを、二次利用できる「オープンデータ」として検索しやす化したサイトのこと。
クラウド	自前でハードウェアやソフトウェアの情報資産を保有せず、ネットワークが必要な時に、必要な機能だけを利用するサービスのこと。クラウドコンピューティングを利用することにより、自宅でも外出先でも、ネットワーク上のいろいろなサービスやデータが使える。つまり、雲(クラウド)の中にサービスやデータがあるようなイメージ。
公共クラウド	総務省が「公共クラウドプラットフォーム」を構築し、自治体が保有する行政データをオープンデータとして民間に提供するシステムで、第1弾として観光情報の提供を開始している。今後、公共施設情報(美術館、コンサートホールなど)、地域産品情報、企業誘致情報(産業用地、ビジネス環境など)などにも拡大していく計画である。
サイバーセキュリティ	インターネットなどを通じてネットワークや各種システムへ行われるサイバー攻撃に対する防御行為のこと。コンピュータへの不正侵入、データの改ざんや破壊、情報漏えい、コンピュータウイルスの感染などがなされないよう、コンピュータやコンピュータネットワークの安全を確保する。
情報リテラシー	リテラシー (literacy) とは本来「識字力=文字を読み書きする能力」のこと。情報リテラシーは情報機器やネットワークを活用して、情報やデータを取り扱う上で必要となる基本的な知識や能力のこと。
ソーシャルメディア	誰もが参加できる広範的な情報発信技術を用いて、社会的相互性を通じて広がっていくように設計されたメディアのこと。双方向のコミュニケーションができることが特徴で、電子掲示板(BBS)、ブログ、SNS、動画共有サイト、動画配信サービスなどの多くのサービスがある。

高度なICTの有効活用により、誰もが安心して
利便性と効率化を享受できる情報化の推進を図ります

亀岡市情報化推進計画

平成28年度(2016年度)～平成32年度(2020年度)

概要版

平成28年3月
亀岡市



亀岡市 総務部 総務課
〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL: 0771-22-3131 (代表) FAX: 0771-22-4911
URL: <https://www.city.kameoka.kyoyo.jp/>



亀岡市観光マスコットキャラクター
明智 かめまる

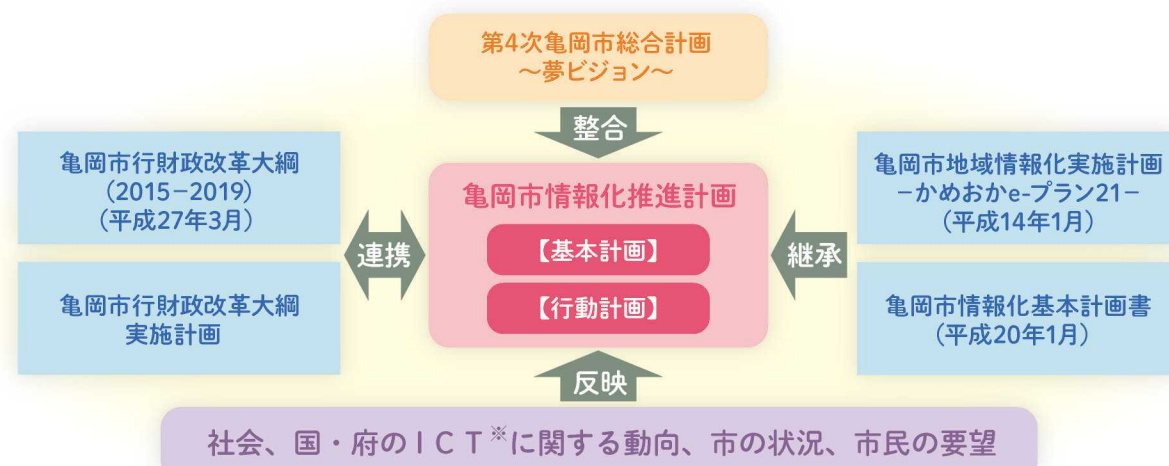
情報化推進計画の策定にあたって

計画の趣旨と策定の背景

インターネットの普及と様々な技術革新により、情報通信技術(以下「ICT*」という。)は急速な発展を続けており、市民生活の多くの場面でICT*を活用し、その利便性を享受できるようになってきています。一方で、人口減少社会が現実のものとなり、更に少子高齢化、自然災害の激甚化、社会資本の老朽化、厳しい財政状況など、本市を取り巻く課題は山積しています。本市では、このような状況に対応していくために、ICT*を有効活用した、質の高い市民サービスの提供とより効率的・効果的な行政運営を図るため、「亀岡市情報化推進計画」(以下「本計画」という。)を策定し、情報化施策を計画的に推進します。

計画の位置付け

本計画は、「第4次亀岡市総合計画」を上位計画とした、情報化の視点からとらえた実施計画です。



計画の期間

本計画の計画期間は、第4次亀岡市総合計画の後期基本計画と整合させた平成28年度(2016年度)から平成32年度(2020年度)までの5年間とします。

計画	期間	平成23年(2011年)	...	平成27年度(2015年度)	平成28年度(2016年度)	...	平成32年度(2020年度)	
第4次亀岡市総合計画	基本構想	[Spanning from 2011 to 2020]						
		前期基本計画			後期基本計画			
亀岡市情報化推進計画					情報化推進計画			

情報化の基本理念と基本方針

本計画においては、国・府の情報政策の動向、ICT*の動向、市民アンケートなどの結果を踏まえ、基本理念と3つの基本方針を定めました。



- 高度なICT*の有効活用により、誰もが安心して利便性と効率化を享受できる情報化の推進を図ります
- ICT*の利活用による市民サービスの向上
- ICT*の利活用による効率的かつ最適な行政運営
- ICT*の利活用による安全・安心でくらしやすいまちづくり

亀岡市情報化推進計画の体系

高度なICT*の有効活用により、誰もが安心して利便性と効率化を享受できる情報化の推進を図ります



くらし
ICT*の利活用による
市民サービスの向上

1. 質の高い市民サービスの提供に関する取組み

- 電子納付サービスの推進
- 京都府・市町村共同公共施設案内予約システムのサービス拡大
- 税務証明書のコンビニ交付サービス
- 住民票、印鑑登録証明書等のコンビニ交付サービス
- 水道開栓・閉栓申請の電子申請サービス

2. 情報発信サービスの向上に関する取組み

- かめおかメール情報配信サービスの拡大
- オープンデータ*活用の推進(オープンデータカタログサイト*の構築)
- ホームページのリニューアル
- SNS*等のメディアを活用した効果的な観光情報の発信
- 公共クラウド*を利用した観光情報の提供
- 市政情報の公開の一層の推進

3. 新たなにぎわいづくりの創出に関する取組み

- 観光客受入支援事業(Wi-Fi*環境整備)

安全・安心

ICT*の利活用による
安全・安心でくらしやすいまちづくり

1. 安全・安心なまちづくりに関する取組み

- 京都府・市町村共同統合型地理情報システム(GIS*)の利用拡大
- 京都府・市町村共同被災者生活再建支援システムの運用
- 京都府防災情報システムの運用
- 亀岡市防災行政無線(同報系)システムの導入
- ICT-BCP*の策定
- 地図情報システム(GIS*)を活用した防犯・交通安全マップの作成
- 地理情報システム(GIS*)を活用したクラウド*型下水道管理システムの整備



市政
ICT*の利活用による
効率的かつ最適な行政運営

1. 行政運営の効率化に関する取組み

- 法務局登記情報連携システムの構築
- 電子決裁の導入
- 市立小・中学校校務支援システムの導入

2. 庁内業務システムの最適化に関する取組み

- 京都府・市町村共同電子申請システムの利用拡大
- CIO*補佐官の設置
- 情報システムの最適化
- ICTガバナンス*の強化

3. 情報セキュリティに関する取組み

- 情報セキュリティ対策の強化
- 情報セキュリティ実施手順書の策定
- サイバーセキュリティ*攻撃への対策強化

4. 情報リテラシー*向上に関する取組み

- ICT*人材育成

亀岡市情報化推進計画行動計画(アクションプラン)

個別施策の目的、内容、スケジュール、評価指標 定期的な進捗状況等の管理